



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年7月5日（金）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
感染症対策推進課	感染症対策監	八代	内線 3352
			直通 058-272-8453
			FAX 058-278-3550

## 事業所での腸管出血性大腸菌感染症の発生報告について

県内の事業所において、従業員25名が腸管出血性大腸菌感染症に感染していることが確認されましたのでお知らせします。

なお、当該従業員らはいずれも無症状であり、入院した者や重症者はありません。

### 1 施設

所在地：揖斐郡池田町

対象事業者数：1

### 2 概要

7月4日（木）、医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の無症状病原体保有者25名が発生した旨の届出があり、西濃保健所が調査を実施した。

なお、感染者はいずれも無症状であり、入院した者や重症者はない。

<無症状病原体保有者の概要>

届出日：令和6年7月4日（木）

届出時の症状：なし

年代	男性	女性
10代	2名	—
20代	—	1名
40代	1名	2名
50代	6名	8名
60代	3名	2名

感染者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から特段の御配慮をお願いします。

### 3 対応（まん延防止対策）

- （1）西濃保健所は現在、事業所関係者及び患者の家族に対して原因究明のための調査を実施。
- （2）当該事業所では、7月3日（水）に感染防止対策の再確認を行い、消毒等を継続して実施。
- （3）西濃保健所は、患者に対して感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）第18条に基づき、就業制限として病原体を保有しなくなるまでの期間は飲食物に触れる業務に従事できないことを通知。

## 参考資料

### ○ 腸管出血性大腸菌感染症とは

大腸菌の一種です。大腸菌は、家畜や人の腸内にも存在し、その大半は無害ですが、いくつかの種類が人に下痢などの消化器症状を起こすことがあり、それを病原大腸菌と呼んでいます。

病原大腸菌の中に、毒素を産生し、出血を伴う腸炎やHUS(溶血性尿毒症症候群)を起こす腸管出血性大腸菌があります。発生は、一年を通してみられますが、5月～10月に多く発生します。

#### <症状等>

症状がないものから軽度の下痢、激しい腹痛、頻回の水様便、さらに著しい血便とともに重篤な合併症を起こし死に至るものまで様々です。多くの場合、3～5日の潜伏期において、激しい腹痛をともなう頻回の水様便の後に、血便となります。発熱は軽度で、多くは37℃台です。血便の初期には血液の混入は少量ですが次第に増加し、典型例では便成分の少ない血液そのものという状態になります。有症者の一部において、下痢などの初発症状発現の後に、HUSまたは脳症などの重症な合併症を発症することがあります。

#### <感染経路等>

菌に汚染された食品や、患者の便で汚染されたものに触れた手を介して起こる経口感染で、話をすることや、くしゃみ、汗などでは感染しません。

病気を起こすといわれる大腸菌は約170種類ありますが、腸管出血性大腸菌感染症を起こすのは、O26、O103、O111、O121、O145、O157などの種類です。

### 【感染症対策推進課からお知らせ】

家庭内でのO26、O103、O111、O121、O145、O157などによる腸管出血性大腸菌感染症の発生は、症状が軽かったり、発症する人が1人や2人のことが多く、かぜと思いきりこんだりして、手当が遅れると、重症になることもありますので、

- ①腹痛、下痢が続く時は、早めに医療機関に受診する。
- ②特に、便に血が混じっている場合は、医療機関へ直ちに受診する。

ことに心掛けてください。

#### <予防等>

- 各家庭や食品関係施設においては、調理前や食事の前は、せっけんで手をよく洗いましょう。
- 加熱して調理する食品は、中まで火がとおるように十分に加熱しましょう。  
(目安は、食品の中心部の温度が75℃、1分間以上です。)
- 調理された食品は、室温で長く放置せず、早めに食べましょう。

### 【県内の腸管出血性大腸菌感染症発生状況（令和6年7月5日現在 本事案の患者を含む）】

発生前	O26	O103	O145	O157	その他	不明	合計
令和3年	9	0	9	26	2	0	46※
令和4年	7	1	5	26	4	1	44
令和5年	1	0	0	39	0	6	46
令和6年	1	1	0	9	0	28	39

※延べ人数（1人はO26とO157の重複感染のため実人数は45人）